

第12回相模原市行財政構造改革本部会議 会議録

日時 令和2年11月17日(火)午前10時30分～

会場 第1特別会議室

出席者 市長、下仲副市長、隠田副市長、森副市長、教育長、市長公室長、市長公室理事、総務局長、財政局長、危機管理局长、市民局長、健康福祉局長、こども・若者未来局長、環境経済局長、都市建設局長、緑区長、中央区長、南区長、議会局長、消防局長

開会のあいさつ

1 行財政構造改革プランにおける大規模事業の取扱い(たたき台)について

事務局より、議題について資料に基づき説明。

- ・ 大規模事業の取扱いについて整理をしなければ、他の改革項目においてどの程度の見直しが必要かという目途が立たないため、先行的に整理する必要がある。
- ・ 各局において、この資料に掲げた事業ごとに取扱方針を検討いただき、その結果を議論する考え。

続いて、大規模事業の取扱いについて先行的に検討を実施している都市建設局の検討状況について、都市建設局長より説明。

- ・ これまで実施するとしてきた事業のうち、本市としてどの事業を実施すべきなのか、その実現可能性も含め調査・検討を行う必要があると、これまでも本部会議の中で訴えてきたところ。
- ・ これまで本市が実施することとしてきた大規模な事業について、現時点において、実現可能性が乏しいものや、実施に向けた具体的な取組が行われていなかったものがあり、実態としては、いずれも直ちに事業化することは難しいと考えている。
- ・ 本改革プランの策定を機に、事業実施に向けた財源確保策のみならず、事業の方向転換など、個々の事業の取扱いについて、現実的な議論を重ね、局として整理を行ったところ。

<主な意見等>

本市は現在、岐路に立たされている。これまでは、地域バランスを考慮しながら事業を進めてきたことなどにより、本来、市を挙げて実施すべき重点施策に財源や人員を集中すべきところ、それが行われずにきた。大規模事業の精査を行う前に、本市はどのような方向に向かっていくべきなのか、そのような議論を進める必要がある。

資料の「 - 1 - (2) - オ 淵野辺駅南口再活性化事業」については、その事業趣旨を、改めて確認する必要があると考える。

2 その他

特になし

以 上